

Business Continuity Plan

BCP を つくろう!

会社が生き残るための事業継続計画



公益財団
法人

東京都中小企業振興公社

災害等に負けない 強い会社をつくるために



皆さんはBCPをご存知でしょうか？ BCPとは、「Business Continuity Plan」の略で日本語に訳すと「事業継続計画」となります。

地震や地盤災害、水害などの不測の事態はいつやってくるかわかりません。こうした危険性について日頃から認識し、防災対策をとることは自らの命を守るために非常に重要です。しかし、経営者としてさらに考えておかなければならないのがBCPです。

災害後も会社は事業を継続していかなければなりません。では事業を復旧するのにどのくらいの時間が必要でしょうか？ どのような対応が必要でしょうか？ BCPとはこうした場合に備えてあらかじめ復旧のための体制や方法について取り決めておく計画なのです。

BCPの策定は決して楽な作業ではありません。また、策定することがゴールではなく、従業員への教育や定期的な見直しなど継続的な取り組みが必要となります。しかし、BCPをきちんと策定し、事前に対応することは、取引先からの信頼性向上につながっていきます。公社のBCP策定講座には、取引先からの要請を受けて参加する会社も多くいらっしゃいます。また、BCP策定を通じて自社の業務を洗い出し、自社の強み弱みを再確認できたという声もお聞きしています。

本書を手にとられた皆様におかれましても、災害等に負けない強い会社をつくるために、BCP策定に取り組んでみませんか。

contents

目次

1	BCPはじめて物語（漫画）	1～17
2	公社支援事業の仕組み	
	①BCP普及啓発セミナー	18
	②BCP策定講座	19
	③専門家派遣	20
	④フォローアップセミナー	21
3	公社支援事例	
	①株式会社相信（製造業）	22
	②十和田エレクトロニクス株式会社（製造業）	23
	③パーチャス株式会社（情報・サービス業）	24
	④株式会社アドビア（広告・印刷業）	25

BCPはじめて物語

工場が…!

漫画:藤田かくじ

みんな
無事か?!

さちこ
幸子!

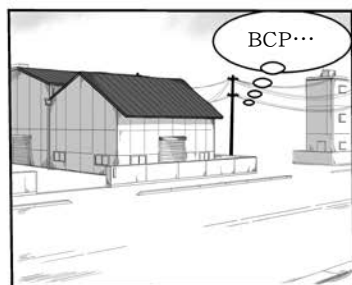
こうへい
公平!

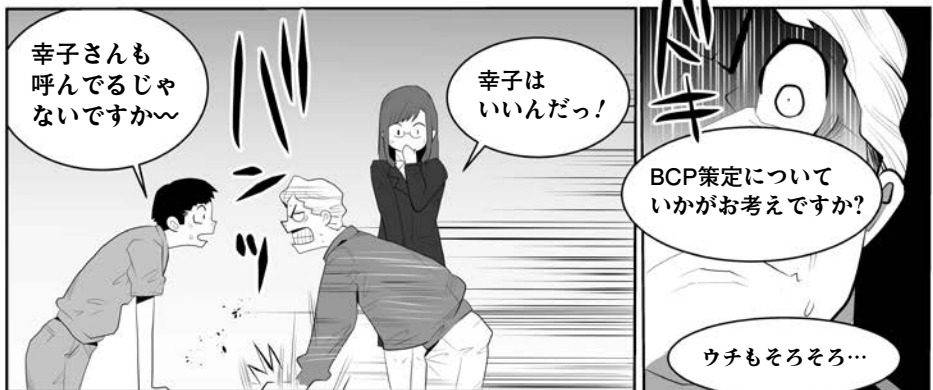


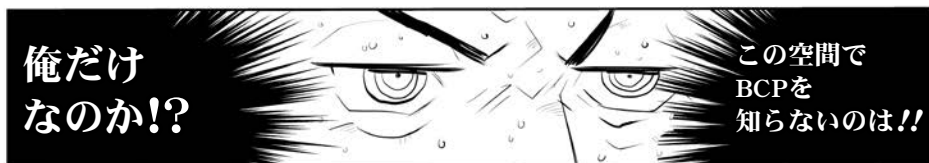
















2011年の東日本大震災は
記憶に新しいですね

今でも苦労している方が
たくさんいるんだ
忘れるもんか…



僕たちが住む地域でも
同じことがおきる可能性は
あります



自然災害だけでなく
パンデミック
(感染症の爆発的流行)
も起きるかもしれないわ



みんなが無事としても
工場がやられたら
いつ操業再開できるか…

自前の災害対策で
どこまでできるか
不安だな…



そうですね

でも





従業員の皆さんに
安心して働いてもらう



取引先からの
信頼を得る



そのための前向きな
企業戦略として



BCP策定に
取り組みましょう!

ほう…
経営者の顔を
するじゃないか





につ…

妊娠
三ヶ月~!?

ドキ

ドキ

初孫よ
お父さん!

えええええ

天国の
かーさん
孫が
できるよー!
できるよー!

うあ
うあ
うあ
うあ

お父さん
私ね…



東京都中小企業振興公社が
BCP策定の支援を
行っています

相談して
みましょう!

もちろん私たちも
がんばるから!

公平!

は はい
お義父さん



BCP普及啓発セミナー

BCP（事業継続計画）とは何かを知ろう！

まんが「BCPはじめて物語」でもお伝えしたとおり、首都直下型地震や台風による水害、インフルエンザの流行による被害等、不測の事態はいつやってくるかわかりません。そうした際に従業員の命を守り、自社にとっての重要事業を継続させていくための計画がBCPです。

BCPの策定は、取引先に対しての信頼を高めるとともに、営業力強化にもつながります。さらに、BCP策定のために業務の洗い出しをすることで、業務の効率化にもつながります。

会社が実施する「BCP普及啓発セミナー」では、これまでBCPについて詳しい知識がなかったという方を対象に、BCPとはなにか、BCPはなぜ必要なのか、BCPの策定はどのように進めていくのか等についてわかりやすく解説します。



Step

1

BCP普及啓発 セミナー

年2回程度開催

目的

BCPの必要性と進め方を理解する

対象

BCPをこれから策定する都内の
中小企業

内容

- (1) 必要性やメリット
- (2) 策定の進め方
- (3) BCP策定支援事業の説明

「BCP普及啓発セミナー」でBCPについての理解を深めたら、次はいよいよ具体的に策定を進めていきます。

会社では、演習を通して、自社に最低限必要なBCP文書を一日かけて策定する「BCP策定講座」を実施しています。策定講座では、BCPの専門家が策定のポイントをアドバイスしながら簡易版のBCPを作り上げます。

例えば以下のような文書作成の演習を行います（あくまでも一例です）。

①災害対策本部活動要領

災害が起こった際の体制と役割を決めます。

②安否確認リスト・状況確認リスト

社員の安否確認や社内外の被災状況確認のためのリストを作成します。

③重要業務の分析、緊急時業務手順、復旧計画

自社にとっての重要業務を定め、緊急時にどのように対応するのか、また、復旧のためにどのくらいの期間が必要で、どのような手順で復旧作業を進めていくのかを考えます。

Step

2

BCP策定講座

（一日）

年間10回程度開催

目的

本講座で簡易版BCPを策定する。

対象

BCPをこれから策定する都内の
中小企業

内容

- （1）BCP策定企業による体験談発表
- （2）BCPの基本的な考え方の解説
- （3）BCP策定演習

※社内でBCP策定を進める際に代表者の方がBCPを理解していると策定がスムーズに進みます。そのため、本講座には会社の代表者と策定担当者の2名での参加をお勧めしております。

専門家派遣

専門家を活用してBCPを完成させよう！

「BCP策定講座」で簡易版BCPを策定したら、会社に戻って具体的な内容を詰めていく作業に進みます。その際に策定講座に参加していただいた企業には3回まで無料で専門家を派遣します。社員向けにBCPの必要性を再度、ご説明したり、BCPの各文書の策定のポイントをアドバイスしたり、災害発生時を想定した訓練のやり方等についてレクチャーします。

また、3回の派遣でBCP完成まで至らなかった場合やさらに詳しく検討したい企業については、有料で2回まで専門家派遣を延長することもできます。

Step

3

**BCPの専門家を
あなたの会社に
派遣します。**

目的

現地で専門家のアドバイスを元に
BCPを完成させる。

対象

BCP策定講座受講企業

派遣
回数

最大3回
※別途有料（1回11,550円＋専門家の旅費1/2）
で2回まで追加派遣可

内容例

- 1回目 BCPの必要性の解説（社員向け）、
緊急時の体制・役割の検討
- 2回目 重要業務の洗い出し、
復旧計画の検討
- 3回目 演習計画策定、訓練方法解説

※内容はお客様のご要望に合わせて変更します。

※無料の3回分は講座終了後、3か月以内を目処に行うことをお勧めしています。

フォローアップセミナー

策定したBCPをブラッシュアップしよう！

BCPの文書を作成することは大切なことです。しかし、文書を作成したらそれで終わりでしょうか。従業員、取引先、業務の進め方など会社の状況は常に変化していきます。また、災害時を想定した訓練をしてみたら、計画に不備が見つかったり、不足が見つかったりということもよくあることです。本当に大切なのは定期的な見直しを行い、都度、BCPをブラッシュアップしていくことです。

公社では、すでにBCPを策定した企業を対象に自社のBCPの見直しと模擬訓練の進め方をテーマに「フォローアップセミナー」を開催しています。



Step 4

フォローアップ セミナー

年2回程度開催

目的

BCPの改善と社内活動の定着化を図る。

対象

すでにBCPを策定している都内
中小企業

内容

- (1) BCPの自主点検
- (2) BCP訓練の必要性と企画・実施
- (3) 模擬訓練
- (4) 訓練気づきとBCP見直し
- (5) BCM構築のポイント

※BCM (Business Continuity Management)

組織にとって重要な事業の継続能力を維持・改善させるための活動

BCP策定事例

公社では平成26年度からBCP策定支援事業を行っています。ここでは、公社が行う「BCP策定講座」と「専門家派遣」を活用してBCPを策定された企業の事例をご紹介します。

製造業

株式会社相信

- 資本金：4,000万円
- 従業員：17名
- 所在地：東京都府中市新町3-5-7
- URL：<http://www.aishin.co.jp>

BCP策定の方向性について経営者と現場の認識を統一させたため、策定活動が活発化した

1 業務内容

マイコン搭載制御機器の設計開発、プリント基板の実装、電子部品の調達を中心に、開発技術者向けの試作品や国内生産少量品の製造に特化したワンストップビジネスを行っている。

2 BCP策定のきっかけ

当社はすでに独自で安否確認方法等、緊急時の行動を中心に中小企業庁の様式に則った形でBCP整備に着手し、訓練を行っていたため、次の課題として、災害時の事業早期復旧に向けた対策について現場レベルで詳細をつめる段階と考えていた。

しかし、BCPの基本的な方針、方向性が明確にされていなかったことから、現場では方向性がつかめず、ボトムアップの計画策定を進めることが難しいと感じていた。

そんな時に公社の「BCP策定支援事業」の存在を知った。専門家が3回まで無料で支援してくれることもあり、「BCP策定講座」に申し込むことにした。

3 活動の内容

まずは、担当者が「BCP策定講座」に参加し、

BCPの基本的な考え方や策定の進め方を学び、その後、現場にて専門家から支援を受けた。

経営層と現場の認識の相違を明確にするため、経営層に当社の事業復旧にあたって中核となる事業の洗い出し、目標復旧時間の想定、中核事業の業務プロセス等を専門家がヒアリングした。その結果、それらの内容を具体的に明文化することができた。

その後、経営層と現場のリーダーを集め、BCPの取り組みに向けての方向性、目標を定めて、現場の不安を解消していった。

4 策定した効果

BCP策定にあたっての当社の課題であった経営層と現場のBCPの認識の相違が解消されたことで防災面から事業の早期復旧まで全体的な流れを意識したBCP策定が実行できた。

現場の課題も摘出でき、平常時の業務の整理にもつながった。

5 今後の取り組み

今後は、訓練等を繰り返しながら、BCPをブラッシュアップしていきたいと考えている。すでに公社が実施する「フォローアップセミナー」にも参加し、具体的な訓練手法等も学んでいる。

十和田エレクトロニクス株式会社

- 資本金：2,000万円
- 従業員：70名
- 所在地：東京都品川区東五反田1-6-3
G-PLACE五反田3階
- URL：<http://www.towada-gp.com/electronics/>

BCPは会社の健康診断と同じ。
会社の良いところ、悪いところを知ることができた

1|業務内容

当社は電子機器の回路設計、基板設計、機構設計からファームウェア設計、アプリケーションソフト設計を行うとともに、グループ会社との連携により、国内工場、海外工場で製造までの一貫したEMSとしてトータルソリューションサービスの提供を行っている。

2|BCP策定のきっかけ

当社は国内、海外に7つのグループ会社を持っており、当社と連携を取りながら業務を進めている。当社も含めて、どこかのグループ会社が被災した場合、業務が停滞してしまう危険があることについて社長は以前から危惧しており、その対策として、社内に危機管理室を立ち上げた。その際に公社の「BCP策定支援事業」を知り受講した。

3|活動の内容

まず「BCP策定講座」に社長と策定担当者の2名で参加し、BCPの必要性や策定の進め方について演習を通して理解した。講座の後、3回まで無料の専門家による現地支援があったが、社長が講座を聞いてBCPの内容について理解していたため、社内での活動がスムーズに進んだ。

専門家による現地支援では、1回目で社長を始めとした管理部門の管理職を中心に災害が起こった際の初動対応、対策本部活動の内容等を検討した。2回目には事業部門の管理職も加え、重要事業の業務フローについて洗い



中村さん（左） 新田さん（右）

出し、業務の復旧時間の検討や復旧のための対策等について検討した。3回目は作成したBCP文書の内容を共有するとともに、災害が起こったことを想定した訓練を実施し、今後の課題等を整理して支援終了となった。

4|策定した効果

会社の業務の棚卸ができた。日頃の業務を誰がどんな形で進めているのかを確認し、何かあった時の代替手段等も検討した。また、社員個人が持っていた仕事のノウハウや情報等も共有することができた。BCPは健康診断と同じで、会社の良いところ、悪いところを知るために必要な活動だと認識した。

5|今後の取り組み

昨年11月にBCP文書が完成したが、今後は訓練を繰り返して、内容をブラッシュアップしていきたいと思っている。

バーチャス株式会社

- 資本金：1,000万円
- 従業員：40名
- 所在地：東京都港区芝浦4-11-17
中野スプリングビル3階
- URL：<http://www.vrc.co.jp/index.html>

社長のBCP策定の意識が全社員に浸透し、
パートナー企業からも理解を受けた

1 業務内容

通信設備に関するネットワーク設計、工事設計、工事施工、ITシステムやネットワークシステムの構築、運用業務等を中心にCADトレース、ファイル形式変換、文書作成・編集等のドキュメントサービスも行っている。

2 BCP策定のきっかけ

当社はパートナー企業と同じビルに入居しており、パートナー企業がすでにBCPを策定していた。当社は災害時にはパートナー企業の防災計画に従う形の対応をしていたが、事業復旧のための対策を考える必要性について社長が問題意識を持っていたため、パートナー企業のBCPも参考にしながら自社のBCP策定を検討していたところ、公社で「BCP策定支援事業」を行っていることを知り、「BCP策定講座」に参加した。

3 活動の内容

まず、「BCP策定講座」に社長と担当者で参加した。社内でBCP策定委員会（役員2名及び社員5名で構成）を立ち上げた。専門家による現地支援においては、1回目で策定委員に対して、BCPとは何か、その必要性、策定方法をレクチャーし、認識をひとつにし、社員が災害等の緊急時にどのようにして行動すればよいかを定めた「緊急時社員ハンドブック」を作成した。BCPの必要性については、その後、策定委員から全社員に対して説明が行われた。

2回目では、災害が起きた際の事業への影

響度分析と経営資源ごとの被災想定を検討した。さらに経営資源ごとの予防低減策、代替策を検討した。

3回目では、事業復旧の手順を定めた事業継続手順書について専門家から説明を受けるとともに検討を行い、災害時を想定した演習も実施した。

4 策定した効果

東日本大震災の時に社長は自宅におり、社内に役員は1名しかいない状況であった。その際、従業員の安否確認や災害状況の確認等、戸惑うことばかりであったが、今回のBCP策定により、そうした対応方法等を明確に定めることができた。また、パートナー企業からBCP策定の活動について理解をいただき、パートナー企業のBCPとも連動する形での体制を構築することができた。

5 今後の取り組み

今回、BCPを策定したことで、まずは始めの一步を踏み出した。今後はこの内容をさらにブラッシュアップしていくため、訓練を定期的に行っていきたいと考えている。すでに当社の年間事業計画にはBCPの訓練等も組み込まれており、パートナー企業が主催する防災訓練及び東京消防庁防災館の防災体験ツアーにも社員全員が参加する等、今後の活動を意欲的に進めて行く予定である。

株式会社アドピア

- 資本金：5,100万円
- 従業員：24名
- 所在地：東京都港区西新橋3-5-2
西新橋第一法規ビル1階
- URL： <http://www.adpia.co.jp/>

社員全員でBCP策定に取り組んだことが
業務改善につながった

1 | 業務内容

当社は顧客の抱える課題の抽出からプロモーション戦略の企画等も含めた総合的なプロデュースを行う広告・印刷業を中心にイベントの運営、キャンペーン事務局等まで幅広い業務を行っている。

2 | BCP策定のきっかけ

2011年の東日本大震災の時に販売促進関連の業務が一か月程度、止まってしまった経験がある。また、データを保管する専用サーバの耐震対策を行っていなかった等、課題の認識と問題意識を持っていた時に当社が所属している全日本印刷工業組合連合会から公社がBCP策定の支援を行っていることを知り、「BCP策定講座」に参加した。

3 | 活動の内容

「BCP策定講座」を受けた担当者は、取り組みの必要性を認識し、会社に戻るとすぐに社内にて報告を行い、各部署からメンバーを出して対策チームを立ち上げた。

専門家派遣の1回目では、参加可能な社員を集めてBCPの必要性、策定の進め方等を専門家からレクチャーしてもらった。その後、緊急時の行動指針を定めた社員ハンドブック、災害対策本部の活動要領の検討を行った。2回目は取引先等の利害関係者の洗い出し、重要業務の分析を行い、事業復旧までの手順について検討した。3回目は重要業務が停止した際の影響度分析と事業復旧手順の検討を再度



BCP対策チーム

行い、演習の進め方の検討やBCP活動の年間計画についても検討した。演習は現在でも3か月に1回程度実施しており、その都度BCPの内容も見直している。

4 | 策定した効果

社内的な効果は、復旧計画を検討する中で各業務の洗い出しができたことである。これにより業務遂行上の課題が発見でき、改善のための対策をとることができた。対外的な効果としては、取引先からBCP策定についての評価を受けたことだった。

5 | 今後の取り組み

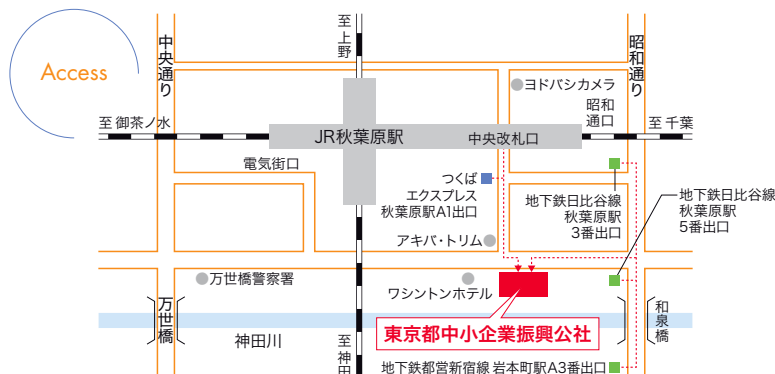
編集関係のデータのバックアップ対策の強化について検討していきたいと考えている。また、当社の外注先についても今後、BCP策定を勧めていきたいと考えている。

Business Continuity Plan



公益財団
法人

東京都中小企業振興公社



JR秋葉原駅 徒歩1分／地下鉄日比谷線秋葉原駅 徒歩3分／
地下鉄都営新宿線岩本町駅 徒歩5分／つくばエクスプレス秋葉原駅 徒歩1分

公益財団法人 東京都中小企業振興公社 「BCP普及啓発プロジェクト」

編集・制作 公益財団法人東京都中小企業振興公社
楠見 真幸 総合支援部 総合支援課
大木 裕子 総合支援部 新事業創出課
米澤 昭郎 城東支社
小宮奈緒美 総合支援部 総合支援課
二井矢 敦 総合支援部 総合支援課
漫画制作 ダンガン株式会社

BCPをつくろう！

会社が生き残るための事業継続計画

発行：平成27年7月10日
公益財団法人 東京都中小企業振興公社
〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町1-9
TEL:03-3251-7881

印刷・出版：株式会社トライ

本書の著作権は
公益財団法人東京都中小企業振興公社が有する。

※無断転載・複製を禁じます。



古紙配合率100%再生紙を使用しています

201507.3000